

# 国際コミュニケーションⅠ-Ⅱ(ドイツ語)

科目ナンバリング FLE-112  
選択 2単位

各クラス共通

## 1. 授業の概要(ねらい)

「国際コミュニケーションⅠ-Ⅰ」の続きの科目です。Ⅰ-Ⅰを履修済みの学生、もしくはそれと同等レベルの学生が対象です(Ⅰ-Ⅰを未履修の学生は、原則として受講は認められません)。

後期も視聴覚映像を見ながら、会話練習を中心に進めていきます。発音を重視しますので、会話文を繰り返し反復練習する習慣をつけてください。

## 2. 授業の到達目標

- ①ドイツ語のつづりを正確に発音することができる。
- ②会話に必要な文法知識を理解し、場面に応じて適切に運用することができる。
- ③日常の基本フレーズを身につけて、買い物の仕方や道の尋ね方などをドイツ語で表現できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点(小テストを含む) … 約40%  
定期試験(中間・期末) … 約60%  
(評価配分は、担当する教員により若干の変動があります。)

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

清野智昭ほか著 『ドイツ語の時間(ときめきミュンヘン)』 朝日出版社

独和辞典も持参のこと(『アクセス独和辞典』、『クラウン独和辞典』など、それなりの語彙数と豊富な例文のあるものを選ぶこと)。電子辞書でも可。ただし単語帳は不可。

## 5. 準備学修の内容

授業では発音を重視しますので、自宅では映像資料を見ながら、会話文を繰り返し声に出して反復練習してきてください。また文法を定着させるために、練習問題を宿題に課しますので、指定された箇所をかならず次回までに行ってくること。

## 6. その他履修上の注意事項

・この「国際コミュニケーションⅠ-Ⅱ」では、初級文法の6~7割の範囲までを学習します。ドイツ語の初級レベルを修了するためには、引き続き「国際コミュニケーションⅡ」を履修する必要があります。

・この授業は初学者向けに開講されている科目ですので、外国語学部ドイツ語コースの学生は原則として履修登録が認められません。ただし単位を要件としない聴講については可とします。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 前期の復習
- 【第2回】 Lektion 5 健康/人称代名詞の3格・4格
- 【第3回】 Lektion 5 健康/時刻表現
- 【第4回】 Lektion 5 健康/分離動詞
- 【第5回】 Lektion 6 買い物/話法の助動詞(1)
- 【第6回】 Lektion 6 買い物/話法の助動詞(2)
- 【第7回】 Lektion 6 買い物/命令形
- 【第8回】 中間試験
- 【第9回】 Lektion 7 ミュンヘン/3・4格の前置詞(1)
- 【第10回】 Lektion 7 ミュンヘン/3・4格の前置詞(2)
- 【第11回】 Lektion 7 ミュンヘン/並列接続詞
- 【第12回】 Lektion 8 休暇の後/3基本形
- 【第13回】 Lektion 8 休暇の後/現在完了形
- 【第14回】 Lektion 8 休暇の後/過去形
- 【第15回】 まとめと期末試験  
\*教員によって授業進度は多少の変動があります。